

目標達成に向けた具体的な取組

①地域における役割を踏まえた医療提供体制

新改革プラン		H29 取組内容等	自己評価
(1) 新病院の建設			
	①新病院基本計画に沿った取組 (H29～)	①前年度策定した基本計画に基づき、基本設計へ着手するとともに、より具体的な計画とするため、事業スケジュールと収支計画を掲載した改訂版を策定した。	A
	②新病院の基本設計への着手 (H29～)	②基本設計の業者選定にあたり、選定委員会を立ち上げ、プロポーザルにて、基本設計業者を選定し、基本設計に着手した。	A
(2) 地域に必要な高度な急性期医療への対応			
	①救命救急センターの維持 (継続)	平成29年8月29日付けで地域医療支援病院の承認を受けた。地域に必要な高度な急性期医療の維持に引き続き努めるとともに、新病院に向け、当院の機能を十分に果たすための体制作りを進めた。  ⑧医療機器の整備については、1.5テスラMRIの更新、鏡視下手術ビデオシステムの増設、骨密度測定装置の導入等、医療機器の整備を行った。	A
	②地域医療支援病院の承認 (H29～)		
	③地域がん診療連携拠点病院の維持 (継続)		
	④東京都周産期連携病院の維持・小児救急体制の整備 (継続)		
	⑤地域災害拠点中核病院の継続 (継続)		
	⑥第二種感染症指定医療機関の維持 (継続)		
	⑦高度専門医療の強化・拡充 (継続)		
	⑧医療機器の整備 (新病院建設を見据えた計画的な購入) (継続)		
(3) 経費削減に係るもの			
1 職員給与費の適正化	①国や東京都および民間の給与との均等を図り、定期的に見直しを行っていきます。(継続)	①人事院勧告、東京都人事委員会勧告に伴い、市職員の給与改定に準じた給与改定を行った。	A
	②職務と責任に応じた適正な給与体系の導入を図ります。(継続)	②特殊勤務手当の見直しおよび昇給基準の廃止に向けた協議を労働組合と行い、共に妥結し、達成した。	A
	③人事評価を活用した給与査定を導入を図ります。(H29～)	③平成29年度の人事評価結果をもとに給与(勤勉手当成績率、昇給)へ反映した。	A
2 診療材料費削減の取組み	①先発医薬品から後発医薬品(ジェネリック薬品)へ、引き続き検討して切り替えていきます。(継続)	①採用薬の整理を進め、44品目を削減した。後発薬品は4品目を採用した。	A
	②手術に使用する材料のセット内容の見直しや採用品目等の検討を継続して行い、削減に努めます。(継続)	②新たに175品目を採用し、代替により66品目を削除した結果、削除率は37.7%となった。	A
	③診療材料購入コストのベンチマーク(病院間比較)を取り入れ、効果的な削減を図っていきます。(H29～)	③ベンチマークを導入し、材料購入価格の値引き交渉を行った。また、採用時にも希望価格で交渉を行った。手術キットの内容を精査し、メーカーに値引き交渉を行った。削減年間換算額約3544万円	A

〈取組状況〉A：計画通りに取り組み、目標を達成できた、B：計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった、C：計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった

新改革プラン		H29 取組内容等	自己評価
3 委託料の適正化	①長期継続契約やプロポーザル方式等を活用し、業務内容の質の確保と契約金額の適正化を継続して図っていきます。(継続)	①入院患者の準備品等について、サービスの向上を目的として、入院セットを導入するに当たり、総合評価方式により業者を決定した。	A
4 光熱水費削減への取組み	①二酸化炭素の排出量を基準排出量(平成27年度～31年度の平均値)に対して、平成29年度以降は13%以上削減します。(継続)	①照明のLEDの拡大、冬季のターボ冷凍機、オイルヒータ停止等により、基準排出量に対し21.5%の削減を達成した。	A
	②エネルギー使用原単位を毎年対前年比1%以上削減します。(継続)	②照明設備のLED化の拡大等により、エネルギー使用原単位を対前年比0.8%減とした。	A
	③PPS(新電力会社)導入による電力料金削減を継続して行います。(継続)	③PPS(新電力会社)との、契約に当たり見積競争を実施したが、燃料費の上昇で対前年度比438万円増となった。	B
	④LED照明整備による電力削減の取組みを継続して行っています。(継続)	④照明設備のLED化の拡大等により、エネルギー使用原単位を対前年比0.8%減とした。	A
(4) 収入確保にかかるもの			
1 地域医療支援病院の承認	①地域連携の強化により、紹介率・逆紹介率の向上を図り、地域医療支援病院の承認を目指します。(継続)	①28年度の数値が承認要件を満たしたことから、地域医療支援病院の承認を29年8月29日に受けた。	A
2 DPC II 群病院の指定	①高度な医療技術の実施(難易度の高い手術件数の増)(継続)	①病院運営会議や院長BSCなどにおいて働きかけを行った。鏡視下手術などの難易度の高い手術が増えたものの、件数は前年度同様の水準に落ち着いた。	B
3 診療報酬への対応	①大きな改革が予想される平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向け、情報収集を行いながら、適切に対応できるよう準備を進めます。(継続)	①厚生労働省のホームページを中心に、最新の情報を収集を行い、平成30年度診療報酬改定に向けて対応をするとともに、関係部署への周知、連絡を徹底した。	A
	②請求漏れ、査定減を防止するための体制について、引き続き取り組んでいきます。(継続)	②保険委員会で出た診療報酬に関することについて検討・分析を行い、診療報酬の算定に反映させた。また手術のDVD研修、手術室の見学を行い、臨床知識および薬剤、材料の知識取得を行った。	A
4 医業未収金への対応	①未収金の管理体制を強化します。督促、催告書を発送するとともに、回収困難な医業未収金については法曹関係者に委託し、回収に努めていきます。(継続)	①H29年度の新規委託数は23人、委託金額は6,111,092円。回収額は前年度委託分も含め、2,623,600円となった。	A
(5) 経営の安定性にかかるもの			
1 臨床研修医の採用	①臨床研修医を採用し、将来を見据えた人材の育成と確保に努めます。(継続)	①病院見学・実習の受け入れおよびレジナビへ参加するなど積極的な活動を行い、募集人員9人を確保した。	A
2 看護師の安定的な確保	①看護実習の受入れや近隣の看護学校等との連絡を密に取りながら、優秀な人材の確保に努めます。(継続)	①青梅看護専門学校、武蔵野大学、東京家政大学の学生の実習を受け入れるとともに、これらの学校に出向き、就職説明会を行い、看護職員の人材確保に努めた。	A
	②看護学生への修学資金貸与制度を広く周知するとともに、多くの方に利用してもらうことで就学を支援し、総合病院における看護職員の確保と充実を図ります。(継続)	②就職説明会などで修学資金貸与制度の周知を図った結果、平成29年度は新規16名(大学生2名、専門学校生等14名)へ貸与した。 平成29年度に就職した新卒者32名のうち、4名に貸与し、看護職員の確保に寄与している。	A

〈取組状況〉A:計画通りに取り組み、目標を達成できた、B:計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった、C:計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった

新改革プラン		H29 取組内容等	自己評価
3 専門資格等を持つ人員の確保・育成	①医療に関する研修への参加や認定看護師等の専門的資格を取得しようとする職員を引き続き支援していきます。(継続)	①高度かつ最新の医療知識と技術習得に向け、外部研修等に積極的に受講させた。また専門分野の資格取得に向けた周知を継続して実施した。	A
4 経営感覚に富む人材等の登用	①病院勤務経験のある事務職の採用を進めていきます。(継続)	①高度かつ専門的な医療事務を担うべく、病院勤務経験者の採用を継続して進めるとともに、在職職員に対し、最新の医療知識の習得に向け、外部研修等に積極的に受講させた。	A
5 働きやすい環境の整備	①子育て世代職員の支援として、院内保育所を継続・充実していくとともに、育児短時間勤務正規職員制度の導入について検討していきます。(継続)	①育児休業等の対象となる子の範囲を拡大および介護休暇制度を充実させ、これらの改正を反映した子育てガイドブックの改訂版を作成し、職員へ周知した。	A
	②ワークライフバランスの実現に向けて、引き続き勤務体系の改善を図っていきます。(継続)	②医師の当直明け日の勤務を原則免除としたほか、救急外来担当医の当直体制において、新たに内科医を加え、救急科医の負担軽減を図った。	A
	③家族の介護を行いながら働く職員の支援として、介護休暇の見直しや介護時間の導入を図ります。(H29～)	③時間外勤務の免除について、育児に加え、介護を行う職員についても対象を拡大、また介護休暇の更新可能期間の上限を撤廃するとともに、新たに介護時間を導入した。	A
6 経営分析の充実	①DPCデータの分析とそれを用いたベンチマーク(病院間比較)により、総合病院の強み・弱みを把握し、経営戦略に活かしていきます。(継続)	①ベンチマークシステムを活用した資料を作成し、水曜会(経営会議)において活用した。	A
	②管理会計の視点からの月次収支について引き続き取り組んでいきます。(継続)	①水曜会(経営会議)において、月次収支の報告を継続した。	A
7 消費増税への対応	①平成31年度に予定されている消費税率の見直しの影響を把握し、適切に対応していきます。(継続)	①消費税率改正に対する情報収集を行った。また、税率改正に合わせ導入が予定されている軽減税率の説明会へ出席した。	A
(6) その他			
1 災害時の体制の整備	①BCP(事業継続計画)の定期的な見直しを図ります。(継続)	①行動計画等の資料を追加し、業務の内容等部分的な見直しを行った。	A
	②電子カルテをはじめとする情報システムのデータバックアップのあり方について、引き続き研究していきます。(継続)	②次期更新に向け、クラウド等の実用性・コストについて、情報収集を実施した。	A
2 広報・情報提供の充実	①医療や健康に関する市民への啓発・発信を目的に、ホームページの更新・市民講座の開催・広報誌の発行等を引き続き行うとともに、内容の充実に努めます。(継続)	①ホームページでは市民講座、相談の開催情報や統計、決算等の基本情報を適宜更新した。また、広報誌では広報サービス委員会で掲載内容を協議し、内容の充実に努めた。	A
3 東京都への財政措置の要望	①東京都地域医療構想における西多摩構想区域においては、高度急性期機能が不足する結果が示されています。当該構想区域において、今後も総合病院が高度急性期医療を担っていくためにも、東京都に対し、新病院の建設にかかる補助金の新設や運営費の補助金の引上げを要望していきます。(H29～)	①補助金の新設については、都担当者へ直接要望活動を行うとともに、市長会等を通じ運営費の引上げの要望を行った。 また新病院関係の既存の補助金の獲得にむけ、都担当者との調整を行った。	B

〈取組状況〉A：計画通りに取り組み、目標を達成できた、B：計画通りに取り組んだが、目標を達成できなかった、C：計画通りに取り組めず、目標を達成できなかった